

文化の風



平成30年度 第14号

 静岡市文化協会

見る人を魅了する、ボルボの新世代SUV。
 試乗車をご用意しています。
 新世代ボルボSUVを、ぜひご体感ください。

2018年 日本カー・オブ・ザ・イヤー
 2018年 日本カー・オブ・ザ・イヤー
 2018年 日本カー・オブ・ザ・イヤー

GOOD DESIGN AWARD 2018

ボルボ・カー 静岡
 〒422-8052 静岡市駿河区緑が丘4-1
 TEL: 054-654-3191 / FAX: 054-288-3410
<http://www.volvocars-shizuoka.com/>

最新情報は
 はこちら → 



宴会は料理のうまい魚勝で!
 皆さまの語らいの席を、
 ころを込めたおもてなしで…。ご予約承ります。

浅間神社近く うお かつ
はあといん魚勝
 静岡市葵区片羽町53番地 安倍街道沿い
 ご予約・お問い合わせ ☎054-271-3777



ホテルアソシア 静岡 JR静岡駅から徒歩1分のおもてなし。

豊かに蒸る気品、満ちあふれる感動。ここから始まるアソシア・ホスピタリティ。

快適性と利便性を追求した客室250室。一流を極めたシェフ陣による
 7つのレストラン&バー。個性と機能あふれる12のバンケットルーム。

最新情報は こちらから <http://www.associa.com/sth/>

ホテルアソシア 静岡 TEL. (054)254-4141 静岡市葵区黒金町56 (JR静岡駅北口)




文化の風

- 発行/静岡市文化協会
 静岡市葵区御幸町4-1 アーバンネット静岡ビル4階 ☎:054-204-8811
- 発行日/平成31年3月1日
- 発行部数/10,000部
- 編集/静岡市文化協会「文化の風」編集委員会
- デザイン・印刷/株式会社イクタス

文化の扉



平成30年度 第14号

 静岡市文化協会

WE LOVE SHIZUOKA CITY

文化を生きかしまちづくり

【保】

人が子供を背負っている象形文字。
私たちが大切にしてきた文化を、絶やすことなく「保ち」
育てていく使命を痛切に感じる年にしていきたい。

近年話題の中心は、「静岡市民文化会館の建て替え」の行方です。アーリーナ化に議論が集中していましたが、再整備を考える検討委員会で昨年の秋頃から意見が分かれてきたようで、年末の委員会でアーリーナ化は白紙に戻るような報道に接しました。私達にとって静岡市民文化会館はホームグラウンドです。どんな施設に生まれかわるかとても強い関心があります。

アーリーナ化白紙の報道前に計画していた、私達が望む静岡市民文化会館の再整備の意見交換会は熱を帯び議論が高まりました。その様子の一端を掲載させていただきます。

静岡市の文化の力は、静岡市文化協会からの意欲の魂は健在だと感じています。一方他力に期待しているところもあります。人間の体には自己治癒力とよばれる不思議な力が備わっているように、私どもの文化協会の各団体にもたいいの問題は自分たちで解決することが出来る力があります。自力を出して歩を踏み出して本領発揮を示していきたいと思えます。



静岡市文化協会 会長 是永 尚志



特集
1

次世代につなぐ

静岡市の芸術文化の担い手として、伝統を守りつつも、未来を見据え、創意工夫をしながら、次の世代につなげている人がいます。

平成30年度
第14号

文化の風

もくじ

- 会長挨拶 今年の一文字 01-02
- もくじ 03
- [特集1] 次世代につなぐ 04-15
- [特集2] チャレンジ 16-19
- ひと 21-24
- エッセイ 25-28
- 県文協広域文化事業 はがき作品展 29
- 文化奨励賞 30
- 会場について 31-34
- 文化協会を実施できる事業 35-36
- 市民文化祭予定表 37
- 芸術祭予定表 38
- 編集後記 39
- 表紙の解説/編集委員 40
- 静岡市文化協会所属団体 41



すきあらば、お茶をひろめる

静岡市茶道連盟
茶道宗偏流東静岡支部審心会
会長 花房宗博



清水港に停泊するダイヤモンドプリンセス号



茶道宗偏流東静岡支部では、五月・八月と清水港に寄港した客船の乗客である海外の方々に、日本文化を体験していただくため、着付けと呈茶を行いました。

着付けは全て先生方にお任せし、青年部である私達審心会は呈茶を担当。手づくりうちわやチラシでピーアールし、お茶菓子とお茶のいただき方を英訳したものを用意。言葉の壁は、シエスチャードカバー：悪戦苦闘しながら海外の方々にイブクを楽しんでいただきました。

五月は船も小さく、二百人規模だったからか、なかなか足を運んでいただけなかったのですが、八月は三千人クラスの豪華客船。用意したお菓子がお昼過ぎには足りなくなる程、大盛況でした。この日はご自分で茶筌を振っていただく体験コーナーを設けたところ、大変好評をいただき「清水が一番楽しいアクティビティだった」とハグしてくださるご婦人もいらっしゃいました。

ご来場いただいた方々の笑顔が嬉しく、日本文化である茶道を紹介することができ、私達にとっても実り多き二日となりました。



Sohen r r

明治の武士道

静岡市藝道連盟

大伸流剣舞術 三代目宗家 内藤重徳



▲重要美術品「太刀 銘 宗忠」鎌倉時代中期西郷隆盛の所持品で、後に深い親交のあった庄内藩士(戊辰戦争後、家老を務めた)菅実秀に贈ったもの。



西郷隆盛の最期を詠った詩吟「城山」を舞う、大伸流剣舞術 三代目宗家 内藤重徳(手前)と大伸流清水神鳳館 田中玲心(奥)

<https://kenbu.net>



西郷隆盛は明治十年に亡くなりました。

意外と知られていませんが、その頃すでに日本は近代化が進み、新橋と横浜間には鉄道が走り、西郷も開業式典列車の4号車に乗車しています。また、瞬時に情報を遠方に伝えられる電信も普及していました。武士は、魔刀令で刀を召し上げられ、戦争も西洋の軍隊色を濃く反映しました。西郷が、武士の誇りをかけて戦った西南戦争でも近代戦が繰り広げられました。西郷が負けたことで「ようやく武士の時代が終わった」と囁かれ、日本は、思想的にも歴史的な大変貌を遂げました。

その後、日本は、富国強兵の国策に乗り、大きく飛躍し、日露戦争に勝利しましたが、太平洋戦争では苦杯を喫し、とうとう日本には、軍人も武士もいなくなりました。それが良いかどうかは別問題として、どんなに科学技術が進んでも日本人の心の中に連綿と引き継がれていかなければならないものがあると思っています。それは、彼らが胸に秘めていた「武士道」です。

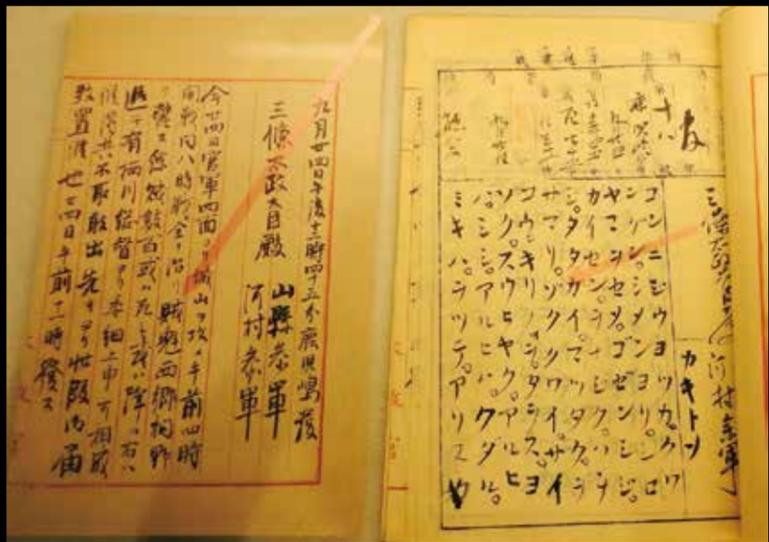
新渡戸稲造は「武士道」を「その表徴たる桜花と同じく、日本の土地に固有の花である」と一般化し、かつ、今もなお存在し続ける道徳体系として位置づけています。

私は、およそ本物の武士には遠く及ばない人間ですが、私が剣舞をやる理由は、未来の日本を憂いて散つていった明治のラストサムライが、胸に抱いた大和魂を体現したいからです。彼らが我が身に乗り移り、剣舞を通して、「明治初期に昇華した武士道」を伝えてくれたらと思っています。わかりやすく言えば、武士道のバントタイムといったところでしょうか。

その境地は遠く、まだまだですが、「生懸命に精進しよう」と思います。そして、その剣舞を次の日本を支えていく若者に託していきたいと思えます。(文責内藤)



▲明治初期の浮世絵(三代目・広重「東海名所改正道中記・程ヶ谷」)には、並木の松に直接電信線を取り付けてある様子が描かれており、その突貫工事ぶりがうかがえる。



▲明治10年(1877)に起こった西南戦争の展開と戦局を伝えるため、軍用電信が使用された。政府軍は、この戦いが情報戦となることを見越し、東京から九州まで電信線を突貫工事で行ったとされる。上の書物は、明治10年9月24日付けの山縣有朋などから太政大臣三条実美に宛てた電報。城山での戦闘が終結し、西郷隆盛らが死亡したことを報告した。国立公文書館蔵



▲明治10(1877)年2月、鹿児島城下を出発した薩軍だが、九州各地で転戦したのち、8月に解散。その後、西郷隆盛の一行は、九州の山間地を越えて鹿児島を目指し、9月1日、再び城下に戻り、城山に立て籠もった。西郷が最後の5日間を過ごしたのがこの洞窟と伝えられている。



▲激戦を極めた田原坂の戦い。西洋式の軍服と羽織袴を身につけた武士同士の混沌とした戦いだった。鹿児島県徒追討記/国立国会図書館蔵

伝えたい ソウルダンス・ステップの魅力

静岡ポップミュージック協会

会長 石川 光史
理事 相馬 康宏



STEP



ディスコダンス講座 〜ソウルダンス・ステップ〜

11月18日・12月9日の両日、大里生涯学習センターと静岡市文化協会共催事業としてお声がけを頂き、「ディスコダンス講座」ワークショップを行いました。欧米からのダンス、ミュージック、ファッション等のカルチャーを学びながら70年代に作られた日本独自のダンスカルチャー、メイドインジャパンのSOULダンス、ステップで参加頂いた皆様と楽しく汗を流しました。ダンスはHIP・HOPダンスとかわれがちですが、ルーツを少し辿れば誰もが踊れるダンスがあります。

素晴らしいダンスを観ることも良いのですが、自身が踊ることのほうがもっと楽しいはず！だと思います。踊りは出来ないと思われている貴方をポップミュージック協会がお手伝いし、ダンスの楽しさや魅力を伝えます。

次回の開催には是非ご参加してみませんか？
楽しく踊ってよい汗をかきましょー！

YouTube ダンス講座を動画で見る



<https://youtu.be/TEHlyJRppgE>

文化の担い手の育成に向けて 静岡吹奏楽団の取組

静岡市民バンド連盟
静岡吹奏楽団

団長 鈴木君親



30年ほど前までは、静岡市内でも多くの小学校に吹奏楽や金管バンドのクラブがあり、学校や地域の行事で演奏するなどの活動を行っていました。

しかし、近年、教育内容の厳選や教員の多忙化解消、負担軽減のための「学校における働き方改革」でこうしたクラブ活動は縮小し、子どもたちが楽器を演奏する機会は失われてしまいました。

こうした中、静岡吹奏楽団は、2017年5月から、静岡市立服織小学校で使われなくなり長年眠っていた楽器を修理調整し、地域の子ども達を対象とした brass band 教室を開始しました。

現在、4年生から6年生の26名が所属し、主に第1、第3土曜日に、服織小学校の音楽室で練習を行い、小学校のPTA祭での演奏や、体育館でのコンサート、老人ホームでの慰問演奏などの活動を行っています。

文部科学大臣の諮問機関として文部科学省内に設置されている中央教育審議会でも、これからの学校が、社会に対して「開かれた学校」となり、家庭や地域社会に対して積極的に働きかけを行い、家庭や地域社会とともに子供たちを育てていくという視点に立った学校運営を心がけることは極めて重要であると述べています。

音楽の好きな子どもたちが集まり、教師や保護者ではない大人や世代の異なる人との交流を通して演奏活動を行うことは、学校と家庭や地域との信頼関係の構築の一助となり、地域との協働による学校づくりの先進的な取組であると思えます。

こうした取組が、子どもたちが音楽を二生涯の趣味として楽しみ、将来の静岡市の文化の担い手となるきっかけづくりとなることを期待して、今後は、中学校や高校との連携を図り活動の場を広げていきたいと考えています。

世代を超えて結ぶ、書道の心

静岡市書道協会創立十周年記念

静岡市書道協会

理事長 大内 翠雅

静岡市書道協会が、創立十周年を迎えることができました。節目の年として、記念イベントを静岡市芸術祭書道協会展(10/24、28)に併せて実施いたしました。ついに、市内に点在する石碑から偉人や書道家の揮毫したものを採拓した拓本展と文化祭書道講演会講師の揮毫した記念帖展を同時に開催。

27日(土)にはワークショップを開き、来場者が銘々に筆を執って「平和」をイメージした言葉を書いて頂きました。静岡室内楽協会の協力を得て、ピアノ・ヴァイオリンの生演奏を聞きながらの揮毫で、普段とは違った環境の中でも真摯にそして自由大胆に書く姿が印象的でした。

翌28日(日)は親子書道展(全国でも類のない親子の合作展)の上位入賞者による席上揮毫。大人も顔負けの筆遣いに多くの参観者は唾を吞んで見入っていました。続いて、書道協会顧問・相談役による模範揮毫が行われました。家を成した先生方による華麗なる筆捌きの数々、驚嘆の声があちらこちらであがり、熱気が充満していました。

夕刻より場所を移して祝賀会を開催。市長はじめ市議会議員、市教育長、文化協会役員の皆様、県書道連盟の方々等、大勢のご来賓を仰ぎ、盛会に終了しました。尚、十年の歩みを纏めた記念誌(定期会報と合併号)を平成31年2月に発行します。以上よって創立十周年の区切りとなります。



ヴァイオリン演奏
静岡室内楽協会
会長 キリティ宏美氏





特集
2 チャレンジ

Challenge

静岡市には、文化のチャレンジャーがいます。



会場には静岡市親子書道展で上位入賞した33人のお子さんが参加。家族全員で来場されていた望月さん母娘にお話を伺いました。

「ご自身も子どもの頃に書道を習っていたというお母さまの亜由子さん。「こういう親子書道展でもなければ、親子で一緒に書道をするのもないので、大変貴重な経験となりました。娘にアドバイスをしてもらいながらがんばって書きました」。

小学2年生のときから書道を始めたという未羽さん(中学2年生)は準7段の腕前。「お母さんと一緒に書道ができてすごく楽しかった」と笑顔で語ってくれました。



望月さん母娘



▲同じ書道教室に通う、ちさちゃん(7歳)とかれんちゃん(8歳)

世代を超えて結ぶ、書道の心

特集
1 次世代につなぐ⑤



華道

華道



文化庁事業の伝統文化こども教室は発足(平成15年)以来継続して実施しています。
はじめは人数集めに苦労しましたが、親子教室になってからは年々参加人数が増え、今では40人余までになりました。
近年日本の伝統文化が低迷しているにもかかわらず、子供も母親たちもひたむきに稽古に励んでおります。
その年の最終講座の折には、全員参加の華展も開催しています。人数は増えても支援金は変わらないうえに会場費(本来公共施設とのことですが)児童館は土曜日になかなか借りられませんや諸経費は年々厳しくなり、予算もけずられることも多々あります。提出書類の申請書は10枚以上の時もあります。
将来、子ども達が日本文化を大切に守ってくれることを願いつつ、文化の種を蒔くつもりで日々努力を重ねております。

文化の種を蒔く 安東地区伝統文化こども教室を開催

静岡市華道連盟 常任理事
池坊 静岡支部 望月昌子
鈴木明美

こども達のいけばな

静岡市華道連盟 常任理事
小原流 山田 富世

「先生このお花はどこへ挿せばいいの」「このお花の長さはこれでいい?」など授業が始まると元気のよい声が聞こえてきます。これは文化庁が実施している「伝統文化いけばな親子教室」に参加している子供達の声です。
上手にいける事が目的ではなく、四季折々の木々や花の移り行く姿を説明し、植物と触れ合う事によって、すべてのものの命の大切さを教えております。小学生が中心ですが、上級生と下級生がお互いの気持ちを理解しあいながら、花の名前や鉢の使い方、花の水揚げ方法を覚えていきます。時には、地域の公民館祭りやみんなの花展に出展して、益々花に興味を持ちはじめたようです。次代を担う子供達が親と共に、伝統文化や生活文化を経験しながら豊かな人間性と自然との共生のあり方を学びます。
今後も講師と共に「親子教室」を継続していき、いけばなの魅力を伝えていきたいと思っております。



日本の伝統芸能を、 気軽に学びませんか。

敷居が高い...と敬遠されがちな伝統芸能の世界ですが、少額の出演料で掲載写真の舞台に立つことができます。ご興味をお持ちの方は是非お問い合わせください。



静岡市長唄日本舞踊連盟

藤間 秀三朗 (日本舞踊)・花柳 雪沙美 (日本舞踊)
芳村 伊四公 (長唄)・杵屋 正叡 (長唄)
菊川 吉多江 (鳴物)

お問い合わせ先 054-285-5531
藤間秀三朗

静岡市吟剣詩舞総連盟

静岡支部

第17回 静岡市民文化祭 詩舞と詩吟の大会

- 2019年5月26日(日) 10:00~
- 静岡市民文化会館中ホール
- お問い合わせ/ 柏木 希城 TEL:054-282-6580

清水支部

第15回 静岡市芸術祭 吟詠詩舞道大会

- 2019年10月6日(日) 10:30~
- 清水文化会館 マリナート 大ホール
- お問い合わせ/ 瀧 清鴻 TEL:054-364-5707

体験してみませんか？



[抹茶]

表千家 裏千家 江戸千家 大日本茶道学会
宗徧流 茶道東海流



[煎茶]

皇風煎茶禮式 静風流 黄檗弘風流 静山流
小笠原流煎茶道



日本の伝統文化
お茶

[お問い合わせはお気軽に] 静岡県茶道連盟事務局 桑山 宗功 ☎ 054-281-0357

静岡市バレエ連盟

第15回 静岡市芸術祭 静岡市バレエ連盟合同公演
2019年11月17日(日) 静岡市民文化会館大ホール



- 梶田美於バレエスタジオ ●レスパース デュ バレエ ●中島バレエスクール
- バレエ団芸術座 ●前田バレエ学苑 ●森本バレエ研究所

事務局
〒422-8042 静岡市駿河区石田1丁目19-9
TEL&FAX 054-289-5607 (梶田)



木遣

写真提供:静岡市民文化会館

伝統の「木遣」を次世代の子ども達へ

静岡伝統木遣協会
事務局長 高宮 薫代

夏休みも真つ盛りの8月4・5日の両日、静岡市主催の「子ども伝統文化寺子屋」が、静岡市民文化会館で開催されました。小学生と保護者計190人が参加し木遣と茶道(抹茶・煎茶)について体験学習をしました。

木遣は、静岡浅間木遣保存会が担当し、柳田芳宏会長の「木遣は、重い材木や石等を運ぶ時、皆で力を合わせる合図の掛け声の歌」という説明に耳を傾け、熱心にメモを取る子供もいました。

会員が振る纏に皆、興味津々！

実際に持つてみて、お父さん、お母さん子ども達も「うわぁー重い」とびっくり。4月の浅間神社廿日会祭、山車巡行の時に歌われるお祭の木遣を練習しました。皆、大きな声を出して張り切っていました。最後には、袴を着て子ども用の軽い纏を振ってお祭り気分を味わいました。

子ども達が「初めて木遣を歌って楽しかった」と、嬉しい感想を述べてくれました。

「寺子屋」がきっかけで、興味をもってくれる子ども達が増えてくれれば嬉しいかぎりです。



写真提供:静岡市民文化会館

HUMAN

ひと

最高の友は、私の中から最高の私を引き出してくれる友である。
ヘンリー・フォード
米国の実業家、フォード・モーター創業者 / 1863~1947

HUMAN

ひと

友情とは、二つの肉体に宿る一つの魂のことである。
アリストテレス
古代ギリシアの哲学者 / 紀元前384~紀元前322



伝統木遣を、魅せる木遣にする!!

静岡伝統木遣協会 会長
静岡浅間木遣保存会 会長 柳田芳宏さん



「誠実さと優れたバランス感覚」から信頼を集める我らのリーダー
NPO法人静岡フィルハーモニー管弦楽団 理事長 江成博行さん
静岡市民オーケストラ連盟
公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟 理事

一緒に飲んでも、演奏してもとても楽しい江成さん。変わらぬ若々しい音楽とオーケストラへの情熱は誰にも負けていません。
江成博行さんの知遇を得たのは、彼も私も二十歳代半ばの美青年!? だった1977年、静岡フィル創立の時でした。
当時からヴァイオリンの腕は抜群で、首席奏者、コンサートマスターとして、また団役員として意欲的に休むことなくオーケストラ活動を続けてきました。
静岡フィルは後援会や多くの方々のご厚意とお力添えにより着実に力を付け、7回に及ぶ海外公演を成功、200回を超える演奏会を開催してきました。
いつも、その中心メンバー、キーパーソンとして奮闘してきたのが、江成理事長と令夫人であり、コンサートミストレスの淳美さんです。おふたりの運営・音楽面に対する熱意と誠意は多くの団員からたいへん信頼をされているところです。
今後も長く着実にオーケストラを発展させていくためには、積極的に若い聴衆を育てる事業を推進していくこと、優秀な若手団員の発掘をしていくことが特に大切だと考えています。
静岡フィル発展のため、江成理事長と共に汗を流して行きたいと思っています。
静岡フィルハーモニー管弦楽団 副理事長 チェロ奏者 津田 望記

葵区浅間神社斎館で、毎週月曜日夜に木遣の練習会が開かれています。昭和26年設立、総勢47名の静岡浅間木遣保存会の第八代会長として柳田さんが就任されたのは、平成28年。以来、初代野村秋風翁の教えを守り、歴代の会長と共に会が継承してきた静岡の伝統木遣を後世に伝えるべく、そして木遣文化を愛する市民と会員からの厚い信頼に応えるべく、全力で会を牽引していらっしゃいます。
稽古は柳田会長を始め副会長方から、伝統に則った口伝にて行なわれます。また唄のみではなく、所作や礼儀、纏振りから絆纏の着こなしに至る迄、まさしく祭の真髄である「粋」が伝えられます。伝統木遣の形骸化を防ぐためには、伝統を守り乍らも常に新しい命を吹き込み、観衆を魅了しなければなりません! という会長の信念に共感し、会員も一丸となって稽古や活動に取り組んでいます。
時にバイクで日本平を訪れて、四季毎の富士山の姿を愛で乍ら、三年後に迫る会の70周年への展望を思い描かれています。

静岡浅間木遣保存会
会員 伏見 聡子 記

HUMAN

ひと

親切な言葉に費用はかからない。しかし、多くのことを成し遂げる。
パスカル
フランスの哲学者、思想家、数学者 / 1623~1662

HUMAN

ひと

他人とは、自分自身の心を読み取ることのできるレンズである。
エマーソン
米国の思想家、哲学者、作家、詩人 / 1803~1882



▲演奏前に看板をあげる様子



▲コスプレ姿も板についている



▲太鼓フェスティバル2017での演奏



▲郵便局年賀状出発式典25回目。感謝状を授与されました。平松会長(左)

僕に始めて和太鼓を触れさせてくれた方

静岡太鼓連盟 和太鼓会あらぐさ 会長 平松和義さん



能楽の世界にこの人あり

静岡市能楽連盟 副会長
観世流 田中賢二さん

第14回静岡市芸術祭。太鼓フェスティバルが今年も幕を開けた。我ら和太鼓会あらぐさは二部のトップ。さあみんな楽しむよ！と平松会長の掛け声で始まる。あらぐさのカラーはお客様を楽しませる和太鼓。今年には特にセツトに力を入れ「和太鼓エンターティナー」あらぐさオープン致します！「本年、力を入れた理由は平松会長率いる和太鼓あらぐさが30周年なんです」。

昔のフェスティバルは、和太鼓についての風習、イメージにとらわれ、自分の思うような演奏ができなかったんだよね。でも一年に一度のフェスティバルだから、舞台でやる以上は、すべてを出し尽くしたステージにしたい！あらぐさは、上手くないからコスプレでカバーし照れ隠しで変装し(笑)でも、メンバーがついてくるか心配でしたが。

もしかして…みんな仮装好き？とも思いました。これからも、太鼓団体だけに、それ以上にコスプレに力を入れていきたい(笑)あらぐさの舞台は七変化！さあ次は、何に変身しようかなと、笑顔の平松会長。真剣に笑いとれるからこそ、何ごとも真剣にできる、そして、ステージの看板製作も今年で27回目。平松さんの作った看板がステージに揚がると、今年もフェスティバルが始まった感がある。心も引き締まる瞬間なんです。毎年皆さんの所に届く年賀状。元旦に年賀状出発式典という式があるんですよ！知ってました？初日の出と同時に届くんですかね？中央郵便局で太鼓演奏しています！今年で25回の感謝状も届きました。

20年後の平松会長へ。ずいぶんお歳をとりましたね。僕も70歳になりましたよ。さて今年もフェスティバルに向け出発しますか(笑)と言わせてください。30周年おめでとうございます。これからもご指導宜しくお願い致します。

静岡太鼓連盟
長谷川 昌吾 記

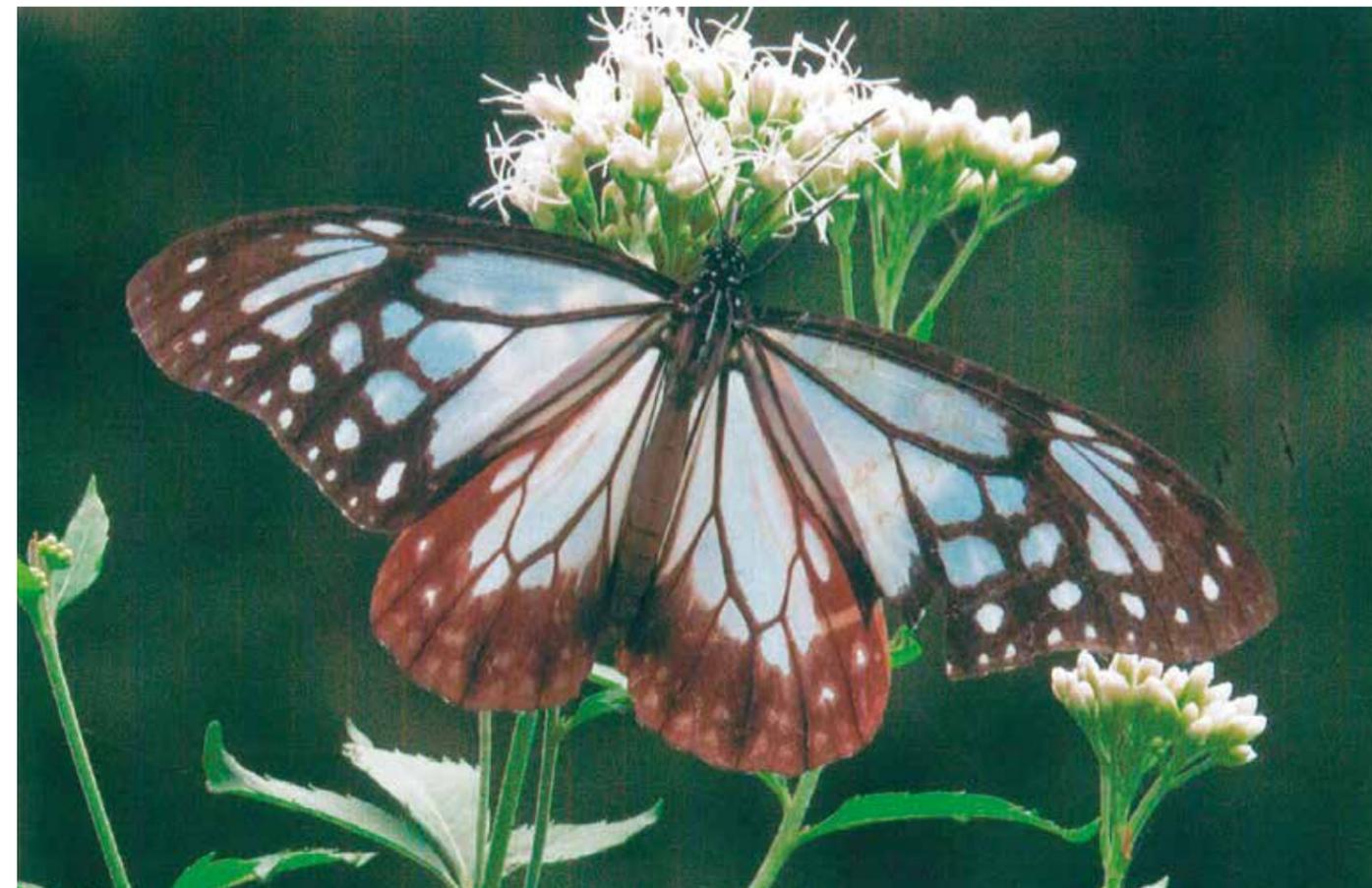
能楽に携わるようになって五十年ぐらになるでしょうか。現在は師も三人目、二つの会の世話役、静岡観世会、静岡市能楽連盟、静岡県能楽協会の重鎮として活躍されています。平成三十年度の静岡市民文化祭での「今川さん、竹千代君の仕舞」などの企画等、会の運営の御手腕には頭が下がります。

この分野の仕事だけでも手一杯だと思うのですが、田中さんの他の趣味部門への関心の広さ、深さには驚かされます。たとえば茶道、焼き物(陶芸)、和楽器の演奏等々話題に上げれば尽きることがありません。鉄道模型など今はどうなっていますか。

散歩も特徴的です。早朝決まった時間に雨の降る日でも課しているとの話。聞きながらついカントの習慣を思い出し、笑いもしましたが、この哲学者の日常生活は規則的で、毎日午後三時半になると散歩に出かけた。道で出会う人達はその姿を見て己の時計の針をあわせたとか。

もう一方では、田中さんの背筋はまっすぐだと感じたものです。

静岡市能楽連盟 監事
観世流 若杉 英治 記



パッチワークの魅力

静岡市クラフト協会 佐藤 久慈子

パッチワークの歴史は古く数えきれないパターンとテクニックがあります。アメリカ開拓時代の人は、どんな思いでパターンを生み出したのか？と考えると、ワクワクします。絵画は絵の具を混ぜて色を作っていきますが、パッチワークは隣り合う布の色・柄で表情イメージを作り上げていきます。この過程に面白さがあり、一番大変な作業です。細かく布をカットし、縫い合わせていく布のパズルの様です。長い間一つの作品に関わるため、完成した時の喜びは格別です。チクチクと針を動かしているが、心が静まり安堵したりと心を揺り動かす不思議な魅力が



あります。長い間続けられたのは、そんな魅力に取りつかれたのかもしれない。母が小さなパッチワーク教室をはじめ、亡くなった後を引きつぎ15年経ちました。今は生徒さん達のアイデアを第にし、ディスプレイをして作品制作をしています。母が口ぐせだった謙虚な心と向上心を忘れずにスローワークで楽しみたいです。



渡りをする蝶「アサギマダラ」

静岡市写真連盟 会長 青山 秀雄

昨年10月中頃、知人にアサギマダラの話を知り、この不思議な蝶の存在を知りました。教えられた丸子の宿、吐月峰柴屋寺の前に二叢の藤袴の植込みがあり、淡紫色の小粒な花がたまって、房状になり満開を迎えていました。そこに数匹(二頭、二頭と数える)の茶色の逞しい翅脈に半透明の淡い水色の翅膜を張り、アゲハ蝶ほどの大きさの蝶が飛び交い、あるものは吸蜜に余念がありません。アサギマダラです。この中の二頭の翅には、何やら文字が書きこまれています。よく見ると、「デコ・8/19・SRS・3425」と読めます。これはマーキングと言われ、旅をする証拠を得るために行われる行為だそうです。この「デコ」とは福島県のグランデコススキー場(場所)のデコを表し8/19(月日)、SRS(人の名前)、3425(番号)と読むそうです。このアサギマ



ダラは、8月19日に福島県グランデコススキー場でSRSさんに3425番目に捕獲され、マーキングされたことが分かります。そうしてみると、このアサギマダラはおよそ二ヶ月かけ、福島から静岡まで三百キロ余りを飛翔したことになりました。そして彼等は10月末にはさらに南下し、遠く台湾、与那国島、小笠原諸島父島などへ、千キロ、二千キロの旅をするそうです。無事に渡ることを祈るばかりです。また気が掛かりなことは、他の二頭は翅が大きく裂け、今にも千切れるのではと思うほどの傷を負っていました。もはや千キロの飛行は無理でしょう。



ソウル・ミュージックをご存知ですか？

静岡ポップミュージック協会 事務局長 野尻 泰造

皆さん！ソウル・ミュージックという音楽をご存知だろうか？
米国黒人によって60、70年代に作られた音楽で、50年代には、リズム&ブルースと呼ばれていたものだ。私はこの音楽に入れあげて50年余になる。音源の蒐集が形を成してきた06年の7月から始めたのがこの音楽を系統だてて紹介する「静岡ソウル・セミナー」だ。

細く長くと続けてきて18年末で129回目となる。

昔やっていたレコードコンサートは、ほぼお客様は聴いているだけだったが、このセミナーでは当日かける曲目リストや演者の解説等の資料を手元に配り、さらにわかりやす

いように関連情報を付けて加えて会を進めている。全国でもこういうセミナーをやっている話は聞いたことがなく、唯二ではないかと自負している。

毎月第三日曜日の夜7時から葵区中町角、ラウンジ10(テン)で開催している。興味がおありでしたら、是非一度ご参加ください。



手作りヴァイオリン四十年

静岡市音楽連盟 理事 深澤 洋一

中学生の時、音楽室へのびこんで、以前から気になっていた楽器「ヴァイオリン」を弾いてみました。ギキッと音がして、その時何故かやれるかなという気がしたのでした。その後、進学した清水東高校の音楽部でヴァイオリンを始め、大学オーケストラではヴァイオリンを担当しました。いつかはヴァイオリンを作りたいという思いはこのころからありました。



九年前の定年退職後は、製作に多くの時間をあてることができ、当初からの目標であったヴァイオリンからコントラバスまでの製作と、自作の楽器を使う弦楽合奏団の結成を実現することができました。

ムジカ・ブリューメは、清水東高校音楽部の卒業生が中心となって活動しています。月一回の日曜日に拙宅のスタジオで練習し、毎年九月に演奏会を開いています。なかなかいい音しますよ。



▲剣詩舞普及のためのワークショップ



▲静岡市文化奨励賞授与式での記念撮影

守り続けること、
伝承させること。



平成30年度 静岡市芸術文化奨励賞

静岡市吟剣詩舞総連盟
星舟流 見城星梅月

この度、平成30年度 静岡市芸術文化奨励賞を戴き、大変光栄であると同時に、この賞の重みをひしひしと感じております。

これからも、更に邁進するようとの賞ということで、背中をぐっと押してもらえたような気がします。

私は「吟剣詩舞」という日本の伝統芸能を、世の中へ広く浸透させるために活動しております。

2歳の頃から厳しい稽古を積み、いくつもの舞台に出演させていただきました。今は、もっとたくさんの方に観てもらい、触れてもらいたいと思い、舞台以外の場へ出向き、舞を舞わさせていただいたり、ワークショップを行ったりしております。

これからは、子供たちにも吟剣詩舞に触れてもらいながら、日本の文化も伝える事を目標としています。

詩に描かれた情景を想像し、感じ、表現する。そして礼と節の心を持ちながら稽古に励む。

日本の文化が人々から離れつつある今、吟剣詩舞を通してその魅力と必要性を伝えていく事、守ることを使命として、精進致します。

何卒宜しくお願い申し上げます。

平成30年度静岡市芸術祭 第5回はがき作品展

(静岡県中部地区第一ブロック広域文化事業)

はがき作品展運営委員長 石谷 富夫



平成30年度静岡市芸術祭 第5回はがき作品展が静岡市市民ギャラリー第4・5展示室にて10月7日から14日まで開催されました。
会場には市民から出品された沢山のはがき、約2300枚を広い展示室に飾りました。
搬入当日は、はがき作品展運営委員の美術・クラフト・写真・書道・文芸・川柳・茶道の皆様が手際よくはがきを張り付けていきました。作業しながら一枚一枚の作品に感心したり、感激したりで、大変な作業の疲れが和らいでしまう作品が多く、毎年この作業を楽しみにしています。

来場者の方々が展示室を見て、絵・写真・書道・ちぎり絵・飛び出した絵など、沢山のジャンルのはがき作品があり感動していました。来場者の楽しんでる様子を見て、来年の作品展ももっと集めて見応えのある展示会にしていきたいとおもいました。

来場者の皆様から、「次回はがき作品展に出品したいのですが、募集はいつからですか。」と出品希望者が多くいらっしゃいました。市民の方々にこのはがき作品展をもっと広く知って頂ける様、私たち運営委員は日々活動していきたいと思っております。

はがき作品を出品して下さった皆様、運営の皆様ありがとうございました。

2019年のはがき作品展は10月5日(土)～13日(日)同会場で開催します。

出品受付 7月～9月末予定

ご出品希望問い合わせ

静岡市文化協会事務局

054-204-1881





静岡市民文化会館は、静岡州市制施行90周年の記念事業の一環として、追手町にあった静岡市公会堂に代わる施設として1975年12月21日に起工、1978年11月3日(文化の日)に開館した。写真は、開館記念式典の様子。

静岡市民文化会館の再整備について

文化芸術活動の活性化を推進する地域の文化拠点に期待を込めて



地下駐車場



意見交換会の様子

静岡市民文化会館の老朽化による再整備について、静岡市は昨年「静岡市駿府町地区文化・スポーツを核としたまちづくり懇話会」や「駿府町地区文化・スポーツを核としたまちづくり検討委員会」で施設規模や事業収支等の議論を進め、複合アリーナ化構想を検討してきた。

そこで、普段から静岡市民文化会館等の市内文教施設を利用している静岡市文化協会の会員が静岡市民文化会館の再整備についてどんな考えをもっているのか、その声を聞くために静岡市文化協会主催の意見交換会を行った。

複合アリーナ化構想については、検討委員会が「アリーナとホールを併設することは困難である」として、白紙に戻る見通しとなったが、この意見交換会では、静岡市民文化会館の現在の使い勝手や再整備に向けての期待などについて意見を上げてもらった。

当初のアリーナ建設を前提とした新施設の建設案では、展示室が無くなってしまわないかとの懸念があったが、現施設の改修が有力になつてきたことから、既存の3つの展示室について、現在の状況や改修に向けての意見から紹介する。

展示室使用団体

● 駐車場の駐車台数が少ないため、イベントが重なる周辺住民は渋滞で迷惑している。駐車場も含め、使い勝手の良い施設にしていきたい。

● 展示室の天井が低く圧迫感があるので、天井を高くして広い壁面を利用できるようにしてもらえると大きな作品の展示が可能になる。

● スポットライト等の照明は、静岡市美術館や静岡県立美術館の照明を参考にして現代アートに対応した照明設備に改修してもらいたい。

● 音楽や舞台、講演などで大勢の人が入るホールの設備は一番に考慮されると思うが、作品などの展示発表する会場の設備を充実して欲しい。

展示を行う団体の多くが、展示室のスペース不足を感じているため、展示室のより一層の充実と、「多目的室」や「創造活動拠点」といったスペースが展示発表の場として活用されるようになることを期待する。

続いてホールを使う団体からは、公演だけでなく、練習もできる施設の整備が必要であるとの意見が多かった。
静岡市は、浜松市などに比べ防音設備が整った文教施設が少ないため、吹奏楽や管弦楽、和太鼓などは練習場所が確保出でずに困っている。
現在の静岡市民文化会館のリハーサル室や大会議室は中ホールに隣接し、リハーサルなどを行うと音が漏れてしまう為、改修にあたっては、配置や防音についても十分な検討が必要である。

ホール使用団体

●吹奏楽の団体がストレスなく練習が出来る広さは、約150㎡(45×50坪)程度が必要。
●「想像活動拠点」の部屋の広さをそのまま確保し、防音にできれば、楽団の練習会場として利用することが出来る。



●ソフト面では、夜間の区分の終了時間を、マリナートグランシップと同様に、22時までにしてもらえると、練習時間を確保できるのでありがたい。
●中ホールのトイレが少なく、イベント時に行列が出来てしまう。また、大ホールも女性用トイレは行列ができてしまうため、施設の規模に応じた設備が必要。

●リハーサルや声出しをする場所が必要なのに、現在の静岡市民文化会館は、リハーサル室が地下、大会議室が3階にあり、移動に時間と手間がかかる。ホールがあればいいと言うことではなく、使い勝手としてはそこに付随する施設も必要となるので、改修増築する中で、検討してもらいたい。

●改修、増築は、エリア全体を文化拠点とし、先を見据えてこれから何十年も使うものとして考えて計画をして欲しい。それが、鷹匠町、駿府町の発展にもつながるし、その場所に行くという楽しみも生まれる。

●正面玄関までのアプローチが長すぎる。車がロータリーで玄関まで入れるような配慮が必要。駐車場から濡れずにホールに入れるようにしてほしい。タクシーの乗り場は玄関の前に置けば良い。

●現状の中ホール及び大ホールの規模で十分であるが、抽選時競合が多いので500席程度の小ホールがあれば利用しやすい。

●中ホールは引き続き回り舞台を設ける。

●駐車場は、500台くらい必要。近隣のコインパーキング等の駐車場は、イベント時はどこも満車で駐車できない。

●会議室、展示室は必要であり、会議室に和室を入れてほしい。

●毎日の練習が出来るようにすると同時に、展示室としても使えるような多目的室がほしい。

●静岡市には能楽堂(能舞台)がつかないのは寂しい。「奈良春日野国際フォーラム 麓 I・R・A・K A」には屋内に屋根のついた能舞台がある。能楽ホールは能公演だけではなく、柱を外して会議や講演会などの会場としても活用されている。能楽堂は柱を外せるようにすれば、日本舞踊、歌舞伎のような日本の芸能については全て使うことが出来る。ピアノの発表会にも使える。銀座では歌

謡曲のコンサートもゆったりする。能楽堂を整備してもらえれば、東京から有名な楽師を呼ぶことも出来る。

●大会議室の客席をアイセルのようにスライドで出せるようにしてもらいたい。

●現状の中ホールは、廊下も広く楽屋も使いやすい。他所から来た方からも評判が良く、使い勝手の良いホールである。

●「多目的室」がリハーサル室としても使え、なおかつ履物を脱いで使う部屋にしてほしい。グランシップは、4部屋くらい練習室があるが、土足のため裾や足袋が真っ黒になってしまう。

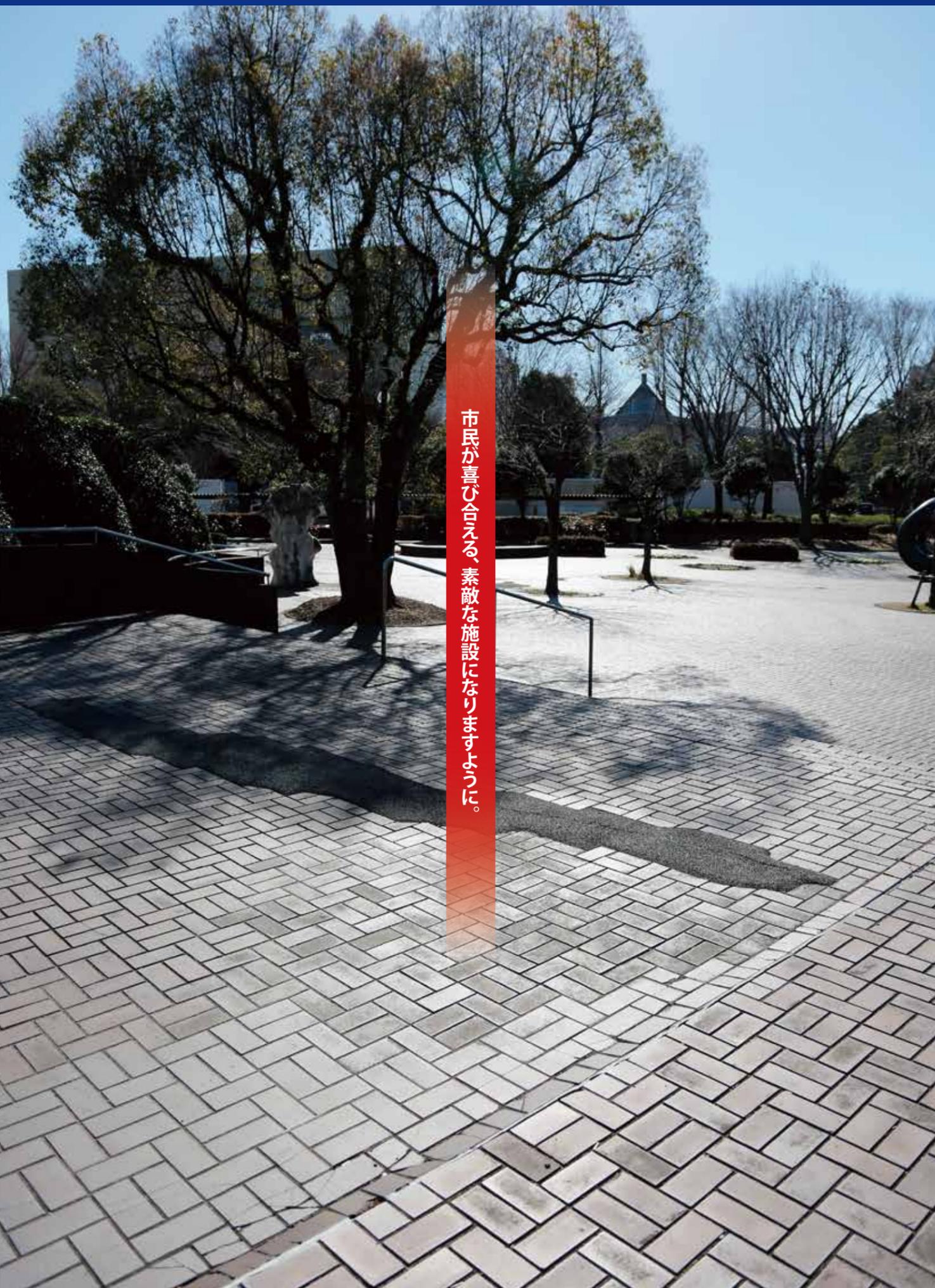
●伝統芸能の分野に携わる団体としては、現在の中ホールは緞帳、引幕、回り舞台、花道があり、音響は響きすぎず、使い勝手が非常に良いと感じている。改修後も舞台と楽屋の位置については、同等以上のものにしてほしい。

●駿府城公園の近くにあるならば、伝統文化の展示、発表、公演に特化した施設にし、文化の育成、発展を目指して欲しい。

今回は、全ての団体の意見を聞くことは出来なかったが、静岡市民文化会館の再整備については、検討委員会の委員の意見だけでなく、普段から市民文化会館を利用している文化協会会員の利用者目線の意見も参考にしていきたいと思う。

また、工事の間は、静岡市民文化会館の利用ができなくなってしまう、現状でもホールが不足している中、ホールが減ることによる影響が懸念されることから、中ホールまたは大ホールのどちらかを先行して整備するなどして休館期間の短縮にも配慮が必要である。

文化施設の充実度は都市の競争力でもあることから、再整備が検討されている静岡市民文化会館は、文化芸術活動の活性化を推進する地域の文化拠点とし、様々な人々が優れた文化芸術に直接触れ、親しみ、創造する機会を持つことができる市民が誇れる施設となることを期待する。



市民が喜び合える、素敵な施設になりますように。

静岡市文化協会所属団体で実施できる事業

団体名	事業形式	事業の内容	会場	対象	材料費	実施時間	その他
静岡市民オーケストラ連盟 (清水フィルハーモニー管弦楽団)	公演 (演奏会)	①オーケストラ演奏会(30~80人編成)	ホール	一般		1~1.5時間	
		②小編成アンサンブル演奏(4~10人編成) 弦楽四重奏や室内楽など	室内	一般 小中高生		30分~ 1時間	
		③上記①、②の子供コンサート 楽器に触れる体験	ホール・室内	幼児~ 小中高生		30分~ 1.5時間	
静岡市合唱連盟	公演	合唱(女声・男声・混声)15~60名	ホール・室内	子供~大人		20~60分	各団体と 直接交渉
	指導	合唱の指導	屋内・屋外	子供~大人		20~60分	
静岡市民謡協会 (静岡支部)	ワークショップ [和楽器入門]	三味線、尺八、の楽器を直接体験 本物の楽器に触れ音を出してみる	ホール、教室 展示室	子供~大人 20~50人		30~60分	楽器演奏 スペース
	講座	三味線、尺八の歴史、楽器のしくみ 民謡の成り立ちの解説、民謡を楽器演奏を加え実演 楽器・唄の解説、静岡県の民謡体験	ホール・教室 展示室 会議室	子供~大人 20~30人		30~60分	//
	公演	実際の唄・演奏・踊りを見学	舞台付ホール 教室・体育館	小中高生		1時間	マイク設備
静岡市音楽連盟	公演 (演奏会)	①合唱(女声・混声・参加人員(10~30名))	室内 (ピアノ必要)			-20~40分	実施の4か月 前までに予約 確認する
		②合奏(クロマハープリコーダー弦楽合奏) 参加人員5~10名	室内				
静岡市三曲協会	ワークショップ [和楽器入門]	箏・三味線・尺八という楽器を直接体験する (楽器に触れ、音を出してみる)	ホール・講堂 展示室など	小学生~大人 30~50人	テキスト 一部100円	全体で 2時間	尺八・箏・三味線の ブースを配置
	公演 (演奏会)	演奏を直接生の姿で聴く、コンサート形式で古典物から ポップスまで箏や三味線・尺八で演奏会として公演する	ホール・講堂など (舞台付)	小学生 中学生	テキスト 一部100円	1時間位	
	講座	箏・三味線・尺八の歴史、楽器のしくみなど、講師が解説 し、実際に弾いてみる(箏)体験型講座とする	会議室 展示室など	子供~大人 20人~30人		1~2時間位	ホワイトボード 必要
	ワークショップ 公演・講座	清水地区一部学区 小中学校に出張しワークショップ・公演・講座を行う。 (さくらを全員で合奏)	小中学校の 教室・体育館	20人~40人	テキスト 一部100円	1時間	
静岡太鼓連盟	公演	和太鼓の演奏					
静岡市演劇協会 (劇団「RIN」)	出張指導	演技指導・発声指導	教室	中高生	なし	1~2時間	
静岡花協会	講座	①園芸基礎講座(育て方、肥料、病虫害など)		20人位まで		1.5時間位	
		②寄せ植え教室		15人位まで	3,000円位まで	1.5~2時間	
静岡市川柳協会	川柳大会	静岡市在住者より川柳募集・入選発表	大会議室	小中高一般	1000円	10~16時	
	講座	川柳講座	生涯学習 センター	一般		2時間位	
静岡市能楽連盟	講演会	「能楽入門」(1.能楽の解説、2.DVDによる解説 3.謡の体験、4.謡の鑑賞、5.仕舞の鑑賞)	舞台付の 講堂&会議室	一般 50人~	テキスト 一部50円	1~2時間	
	講座	「能楽入門」(上記講演会の縮小版)	舞台付会議室	一般 20~100人	テキスト 一部50円	1~2時間	
	ワーク ショップ	「謡入門」(1.能楽の解説、2.謡の練習)	会議室	一般・子供 10~30人		4時間~	
静岡市長唄日本舞踊連盟	公演 (演奏会)	日本舞踊長唄鳴物の発表 ・生演奏による日本舞踊 ・生演奏のみ	舞台付の会場 学習センター 公民館など	子供から 大人まで	なし	約1時間	謝礼金 出演料は いり ません
	ワーク ショップ	特に園児から高校生位まで大人でも可 日本舞踊・三味線・鳴物などを体験する ・日本舞踊のみ、また長唄・鳴物のみでも可	学校 学習センター 公民館など	子供から 大人まで		約1時間	
静岡伝統木遣協会 (静岡浅間木遣保存会)	式典 イベント	オープニング及び会の締め木遣披露	式典イベント の会場 屋外でも可	来場者		式典イベントの 時間に合わせ 10~20分位	出演料・謝礼 等は不要 イベント式典 等の出演は 20名程度 講座等は 4~5名で 指導します
	講座	木遣の歴史の話、木遣歌の指導、まとい振り	学校等 生涯学習センター	小~高校生 一般	テキスト コピー代	1~2時間	
	学校クラブ 活動での指導	伝統の木遣を継続的に次世代に継承していく	各学校	小~高校生	テキスト コピー代	1~2時間	
蒲原文化連盟	講座・体験 実演・公演	構成26団体それぞれで講座・体験・実演・公演等が 出来ますので、お問合せください。	生涯学習交流館 生涯学習センター	どなたでも	実費がかかる 場合もある	1~2時間	

※ 講演・講座・ワークショップ等の依頼を希望されるときは、静岡市文化協会までご連絡ください。
 静岡市文化協会 [所在地] 〒420-0857 静岡市葵区御幸町4番地の1 アーバンネットビル4階
 [電話] 054-204-8811 [FAX] 054-204-8139

静岡市文化協会所属団体で実施できる事業

団体名	事業形式	事業の内容	会場	対象	材料費	実施時間	その他				
静岡市華道連盟	体験講座	いけばなの体験学習		小学生高学年 ~一般	1,200円 ~1,500円	30分~60分	水道設備				
静岡市茶道連盟	講演	茶道の歴史・茶人・茶室等に関する話	会議室	一般	無	90分	プロジェクター 等の映写機				
	実演	①茶会イベントに合わせて行う 体験コーナー		一般	茶・菓子代	30分/席					
		②抹茶・煎茶体験(点て方、飲み方、作法) ③作法を学ぶ		一般 子供・学生	茶・菓子代	1時間					
静岡市書道協会	講座 出張指導	①外国人に「書道」の体験	文化会館 アイセル等、 机と椅子が あるところ	幼児~ 一般	500円~ 1,000円	2時間位	②表札づくり(木製か陶版)				
		③草書に挑戦									
		④はじめての仮名文字 勉強									
		⑤文字手紙と絵手紙									
		⑥文字遊び(コースター・扇子・うちわ等に文字を書く)									
	学校指導 生涯学習 センター での指導	⑦基礎から「書道」	学校 生涯学習 センターなど	幼児~ 一般	無料	1時間~ 2時間	⑧年賀状づくり				
		⑨和歌を書いてみよう									
		①初めての「書写・書道」を親子で勉強									
		②小中学校で「書初め」指導									
静岡市クラフト協会	講座	③小中学校で「書写授業」のお手伝い	机と椅子が あるところ	子供~ 大人	500円~ 1,000円	1時間~ 2時間	④幼稚園で入学前に鉛筆の持ち方、名前の指導				
		⑤鉛筆の持ち方を中心に楽しく文字勉強									
		①紙粘土教室(1回-作品作り、2回-色塗り仕上げ) 好きな動物作り、干支作り、夏休み子供教室					机と椅子が あるところ	2・3歳~ 高齢者	500円~	2時間	2回の講座 が必要
		②樹脂粘土教室 花、動物、人形、食品等手のひらサイズのミニ作品					机と椅子が あるところ	子供~大人	500円~ 1,000円	1時間~ 2時間	
		③縮緬(ちりめん)教室 縮緬、他の和布で和小物、ストラップ、ブローチ作り					机と椅子が あるところ	子供~大人	1,000円位	2時間	
		④アートフラワー教室 布を染めて花を作る、コサージュ、髪飾り、ミニブーケなど					机と椅子が あるところ	子供~大人	500円~ 1,000円	2時間	
		⑤ビーズ・アクセサリー作成教室 ブローチ、ネックレス等の小作品					机と椅子が あるところ	子供~ 大人	500円~ 1,500円	1時間~ 2時間	⑥革教室(レザー教室) ブローチ、キーホルダー等の小作品
		⑦押し花教室									
⑧パッチワーク教室 小物小作品作り											
静岡市写真連盟	展示会 (写真展)	静岡市在住・通勤通学・静岡市の写真クラブの所属して いる方の展示会 (サイズ:4切、反切、A4、A3、全紙、一人1点)	文化会館 展示室			7時間/1日					
静岡室内楽協会	公演 (演奏会)	①ピアノ独奏 ②ピアノ連弾 ③各種の室内楽(2~8名編成)	100人位入場 可能な室内	一般(大人 ~小中高生)		30分~ 1時間					
静岡市民バンド連盟 (コンセル・リベルテ)	公演 (演奏会)	吹奏楽コンサート	ホール・広場	一般		30~60分					
静岡市民バンド連盟 (静岡吹奏楽団)	公演 (演奏会)	①吹奏楽コンサート	ホール	一般		30~60分					
		②ミニコンサート(小編成アンサンブル)	学校、児童館、 病院、観光施設			30~60分					
静岡市民オーケストラ連盟 (静岡フィルハーモニー管弦楽団)	公演 (演奏会)	①オーケストラ演奏会(30~80人編成)	ホール	子供~大人	なし	1~1.5時間					
		②小編成アンサンブル演奏(2~10人編成) 弦楽四重奏や各種形態の室内楽	数十人~200人 程度の室内、 編成によっては 室外可	子供~大人	なし	30分~ 1時間					

2019年度 第15回 静岡市芸術祭予定表

- 主催 静岡市文化協会
後援／静岡市・静岡市教育委員会・公益財団法人静岡市文化振興財団・静岡新聞社・静岡放送（予定）
- 会期 2019年10月5日（土）～11月17日（日）
- 会場 静岡市民文化会館・静岡市民ギャラリー・静岡音楽館AOI・紅葉山庭園茶室・清水文化会館マリナート・清水テルサ
由比生涯学習交流館・蒲原生涯学習交流館

式典

開会式 10月5日（土）13時00分～ 静岡音楽館AOI 静岡市文化協会

展示部門

はがき作品展 10月5日（土）～10月13日（日） 静岡市民ギャラリー 静岡市文化協会
書道協会展 10月9日（水）～10月13日（日） 静岡市民文化会館 静岡市書道協会
美術家協会展 10月9日（水）～10月13日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市美術家協会
写真展 10月17日（木）～10月20日（日） 静岡市民文化会館 静岡市写真連盟
クラフト協会展 10月17日（木）～10月20日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市クラフト協会
文芸展 10月23日（水）～10月27日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市文芸協会

ホール部門

静岡男声合唱団記念演奏会 10月5日（土） 静岡音楽館AOI 静岡市合唱連盟
吟詠詩舞道大会 10月6日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市吟詠詩舞総連盟
民謡大会（静岡支部） 10月13日（日） 静岡市民文化会館 静岡市民謡協会
三曲演奏会（箏・三絃・尺八） 10月13日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市三曲協会
能楽祭 10月13日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市能楽連盟
静岡吹奏楽団定期演奏会 10月20日（日） 静岡市民文化会館 静岡市民バンド連盟
長唄邦舞のつどい 10月20日（日） 静岡市民文化会館 静岡市長唄日本舞踊連盟
民謡大会（清水支部） 10月20日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市民謡協会
清水演劇研究会公演 10月26日（土） 清水文化会館マリナート 静岡市演劇協会
音楽祭 10月27日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市音楽連盟
劇団清見瀧公演 11月2日（土） 清水文化会館マリナート 静岡市演劇協会
静岡市民バンド
コンセール・リベルテ定期演奏会 11月10日（日） 静岡市民文化会館 静岡市民バンド連盟
静岡太鼓フェスティバル2019
藝道大会 11月10日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市藝道連盟
パレエ連盟合同公演 11月17日（日） 静岡市民文化会館 静岡市パレエ連盟

大会部門

市民大茶会 10月20日（日） 紅葉山庭園茶室 静岡市茶道連盟
茶道大会 10月27日（日） 清水テルサ 静岡市茶道連盟

由比会場

展示・ホール部門 10月26日（土）～10月27日（日） 由比生涯学習交流館 静岡市由比文化連盟

蒲原会場

展示・ホール部門 11月2日（土）～11月3日（日） 蒲原生涯学習交流館 静岡市蒲原文化連盟

2019年度 第17回 静岡市市民文化祭予定表

- 主催 静岡市
企画・運営 静岡市文化協会 後援 静岡新聞社・静岡放送
- 会期 2019年5月8日（水）～6月30日（日）
- 会場 静岡市民文化会館・静岡市民ギャラリー・静岡音楽館AOI・紅葉山庭園茶室・清水文化会館マリナート・清水テルサ
- 参加団体 20団体
- 内容 式典（開会式・授賞式）、展示・公演・大会・講演会

式典

開会式 5月8日（水） 9:30～ 静岡市民ギャラリー
授賞式 6月30日（日） 14:00～ 静岡市民文化会館 大会議室

展示部門

花展 5月8日（水）～5月12日（日） 静岡市民ギャラリー 静岡花協会
写真展 5月8日（水）～5月12日（日） 静岡市民ギャラリー 静岡市写真連盟
書道展（審査A部門） 5月15日（水）～5月19日（日） 静岡市民ギャラリー 静岡市書道協会
書道展（審査B部門） 5月15日（水）～5月19日（日） 静岡市民文化会館 静岡市書道協会
美術展（公募展） 5月15日（水）～5月19日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市美術家協会
書道講演会 5月19日（日） 静岡市民文化会館 静岡市書道協会
クラフト展 5月22日（水）～5月26日（日） 静岡市民ギャラリー 静岡市クラフト協会
華道展 5月22日（水）～5月26日（日） 静岡市民ギャラリー 静岡市華道連盟
書道展（自由部門） 5月29日（水）～6月2日（日） 静岡市民ギャラリー 静岡市書道協会
春のいけばな展 5月29日（水）～6月2日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市華道連盟
水石展 6月7日（金）～6月9日（日） 静岡市民文化会館 静岡市水石協会

ホール部門

日本舞踊のつどい 5月12日（日） 静岡市民文化会館 静岡市長唄日本舞踊連盟
三曲演奏会 5月19日（日） 静岡市民文化会館 静岡市三曲協会
劇団静芸公演 5月25日（土） 静岡市民文化会館 静岡市演劇協会
室内オーケストラの夕べ 5月25日（土） 静岡音楽館AOI 静岡室内楽協会
詩舞と詩吟の大会 5月26日（日） 静岡市民文化会館 静岡市吟詠詩舞総連盟
CANTARO WIND ENSEMBLE演奏会 6月1日（土） 静岡市民文化会館 静岡市民バンド連盟
静岡ポップミュージック協会公演 6月2日（日） 静岡市民文化会館 静岡ポップミュージック協会
能楽を楽しむ会 6月2日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市能楽連盟
合唱のつどい 6月2日（日） 静岡音楽館AOI 静岡市合唱連盟
静岡フィルハーモニー管弦楽団
定期演奏会 6月8日（土） 静岡市民文化会館 静岡市民オーケストラ連盟
劇団RIN公演 6月9日（日） 静岡市民文化会館 静岡市演劇協会
Brass Orquesta Shizuoka演奏会 6月9日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市民バンド連盟
おやこ映画会 6月16日（日） 静岡市民文化会館 静岡映画協会
清水フィルハーモニー管弦楽団
定期演奏会 6月16日（日） 清水文化会館マリナート 静岡市民オーケストラ連盟

大会部門

市民川柳大会 5月12日（日） 静岡市民文化会館 静岡市川柳協会
茶道大会 5月26日（日） 清水テルサ 静岡市茶道連盟
市民大茶会 5月26日（日） 紅葉山庭園茶室 静岡市茶道連盟

編集後記

編集委員長 鈴木 君親

「教員には残業代を出さない」ことを定めた1972年に施行された「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」(給特法)により、現状では、教員の行う部活動指導のほとんどはボランティアになってしまっている。

こうした教員のサービス残業を現状に合わせて支払うと、国と地方を合わせて年間9千億円以上が必要になると文部科学省は試算している。

静岡市の「静岡市立中学校部活動ガイドライン」では、今まで教員が行っていた部活動指導を「技術的な指導ができる多様な外部人材を部活動指導員として活用する」としているが、部活動に費やすサービス残業代を教員から部活動指導員に変えても、結局それなりの経費が必要となってしまふ。

本誌の「静岡市文化協会所属団体で実施できる事業」の項で紹介しているが、依頼があれば各団体が希望に沿った文化事業を実施することができる。

部活動を学校の中だけでなく、外部とのつながりを持つことで、幅広い人間関係が構築でき、子供たちの成長にもつながっていくのではないかと思う。

親でも教員でもない、いろいろな価値観を持った大人と接することは、人生経験も豊かになり、より効果的で有意義な部活動の実現につながるはずだ。

また、部活動の生涯性を考えると、例えば、吹奏楽部を辞めたら楽器を触らなくなってしまうというのではなく、「静岡吹奏楽団」のような市民楽団に所属し、「生涯活動」としてやっていくことで、さまざまな人との交流もできる。

今後、中学、高校の部活動の縮小による静岡市の文化の担い手の減少が懸念される。

ぜひとも、文化協会所属団体を活用して静岡市の文化の風を止めないようにしてほしい。



編集副委員長 飯田 優士

数年前から夜出かける時は着物を着て出かけるようになりました。着始めた頃には、諸先輩方から「帯はこの位置がいい」「時計は懐中時計！」などいろいろなアドバイスをいただいた。最近では「かまぼこだね！」と褒められました。「かまぼこ」板についた」という駄洒落ですね。

着物に高いというイメージがありますが、最近着ているものは亡くなった母の着物をリメイクしたものが多く仕立て直しだけなのでとてもリーズナブルでした。直近では母の喪服を冬のコートに仕上げた一枚です。実家の紋が入ったお気に入りの一枚です。若い頃のスーツは色褪せ、身体のサイズも変わってしまったので着ることができなくなりました。着物はいつまでも着ることが出来るので究極のエコができるのではないかな？と思います。

着物男子なんて言葉も聞くようになりまして、皆様もぜひ着物でお出かけしてみたいかがでしょうか？



Facebookもチェック

静岡市文化協会では、フェイスブックページを活用し、各文化団体の活動や講演会・発表会・演奏会など様々な情報発信をしています。

フェイスブックHPで「静岡市文化協会」と検索 <https://www.facebook.com>



静岡の春

静岡市美術家協会 理事 坂本 雅子

身近な人物をモデルに、日常生活のひとこまを彫刻にしてみました。テラコッタ(素焼き)と合板を素材に、彩色を加えて仕上げています。

「静岡の春」は、駿府城公園の石垣に枝をたれて咲くお堀の桜と、窓辺から桜を眺めている女性を組み合わせた作品です。

お堀の桜は、私にとっての静岡の春です。



編集委員

- | | | | |
|----------------|--------------|---------------|---------------|
| 委員長 鈴木 君親(バンド) | 委員 有賀 峯華(華道) | 柴田 正樹(オーケストラ) | 石川 治恵(クラフト) |
| 副委員長 飯田 優士(合唱) | 登崎 宗弘(茶道) | 望月 茂雄(民謡) | 河村 圭子(写真) |
| 委員 山田 望(音楽) | 沖村 春岑(書道) | 濱田 崗童(三曲) | 田中 孝昌(室内楽) |
| 田村 清潤(吟剣) | 坂本 雅子(美術) | 長谷川昌吾(太鼓) | 望月 正樹(オーケストラ) |
| 杉山弥知子(バレエ) | 中川 正臣(演劇) | 中川 正臣(演劇) | 望月 茂雄(民謡) |
| 瀧谷はるみ(藝道) | 平野 清司(水石) | 増井 幸子(花柳) | 望月 茂雄(民謡) |
| 川村 洋未(川柳) | 伊部真理子(映画) | 望月 道(文芸) | 望月 茂雄(民謡) |
| 尾崎 通恵(長唄日舞) | 近藤満里彌(能楽) | 高宮 薫代(木遣) | 望月 茂雄(民謡) |
| 香野 廣蒲(原) | 渡辺 洋子(由比) | 栗山 薫(ポップ) | 望月 茂雄(民謡) |
| 三浦 勝 | 朝倉 秀代 | | |

静岡市川柳協会

静岡川柳社
定例会 アイセル 21
毎月第1日曜日 13時～

静岡たかね川柳会
定例会 アイセル 21
毎月第3日曜日 13時～

むなぎ川柳会
定例会 南部生涯学習センター
毎月第2日曜日 13時～

しみず川柳かすが
定例会 清水区生涯学習交流館
毎月第2・4木曜日 13時～

* 随時会員募集しています

[連絡先] 佐野由利子 ☎054-288-7682



あなたも楽しく剣舞を学びませんか？



お稽古日

〈静岡道場(葵区末広町)〉 毎週火曜日 18時～20時
 〈朝日テレビカルチャー〉 第1第3水曜日 18時30分～19時30分
 〈静岡両替町道場〉 第1第3木曜日 18時30分～19時30分

大伸流清水神鳳館

剣舞とは、刀を使った武将の舞です。刀ブームの今、女性にも大人気な日本伝統文化です。あなたも体験してみませんか？

無料体験会実施中

詳しくはお気軽にお電話ください。
090-7953-7029 担当：内藤

ホームページもご覧ください
<https://kenbu.net>



第17回静岡市民文化祭

静岡市三曲協会

創立80周年記念演奏会

- 平成31年5月19日(日)
- 開場 10:30 開演 11:00
- 会場 静岡市民文化会館 中ホール

[連絡先] 渡辺 瑛声
☎054-247-5882(片平)
[事務局] 大場 雄童
☎054-262-4910

箏・三味線・尺八に加え、太鼓・木遣・日舞の文化団体の出演と、ゲストに若手箏曲家日吉章吾氏をお迎えします。

日吉章吾氏

おまかせください。

株式会社 **ちかく堂**
 静岡市葵区羽鳥5丁目6番3号
 TEL:054-295-7910 FAX:054-295-7911
 E-mail:chikakudo@mx1.s-cnet.ne.jp

移転しました
 服部クリニック
 ●ちかく堂
 ●バーバーS
 ●羽鳥交番
 ●至 安西橋
 ●至 牧ヶ谷橋

OA機器・事務用文具・事務機器
 オフィス家具・図書館用品・教育機器
 医療福祉機器・各種印刷・印章
 学校・会社・諸官庁団体事務所 納品卸

静岡吹奏楽団

SHIZUOKA WIND ORCHESTRA

●2019 INFORMATION
 3.16 はとリスプリングコンサート 服織小体育館
 6.29 HeArtful コンサート しずぎんホール ユーフォニア
 10.20 第8回定期演奏会 静岡市民文化会館 大ホール



随時会員
募集しています

静岡木遣
静岡浅間木遣保存会

連絡先 柳田芳宏 ホームページもご覧ください
 054-251-7885 駿府芸能保存会連合会 検索

練習日/毎週月曜日19時&り
 場所/静岡浅間神社 斎館

前田バレエ団 前田バレエ学苑

www.ballet.co.jp

静岡市民文化会館 40周年記念公演「白鳥の湖」第1幕より
 演奏：静岡フィルハーモニー管弦楽団

静岡スタジオ 420-0839 静岡市葵区鷹匠3-3-5 054-246-1593
 東京スタジオ 157-0066 東京都世田谷区成城5-14-23 03-3482-6050

静岡市文化協会所属団体一覧

所属団体名	代表者	事務局長	事務局・連絡先		
静岡市華道連盟	中塚 紀瞳	海野 俊彦	420-0833	葵区東鷹匠町4-15-406	054-252-5433
静岡市茶道連盟	横山 大山	桑山 宗功	422-8021	駿河区小鹿1-38-24	054-281-0357
静岡市書道協会	望月 静子	鈴木 真翠	422-8006	駿河区曲金2-5-45	054-286-0890
静岡市美術家協会	小柳津 隆弘	石谷 富夫	420-0905	葵区南沼上3-10-8	054-261-0572
静岡市クラフト協会	谷口 彰	望月 陽子	422-8076	駿河区八幡5-4-1 2階	054-286-2246
静岡市写真連盟	青山 秀雄	曾根 弘	420-0923	葵区川合3-9-34	054-261-8279
静岡室内楽協会	キリティ 宏美	青嶋 節子	420-0866	葵区西草深町16-3	054-253-6480
静岡市民バンドオーケストラ連盟	石垣 宏平	江成 博行	422-8017	駿河区大谷3800-54	054-270-3151
静岡市民バンド連盟	大橋 智津子	野村 信司	420-0843	葵区巴町74	090-8457-9284
静岡市合唱連盟	飯田 英夫	南荘 宏	420-0034	葵区常盤町2-8-12	054-252-5091
静岡市民謡協会	杉山 正雄	望月 茂雄	420-0831	葵区水落町15-4	080-5110-8594
静岡市音楽連盟	山田 望	山田 望	424-0838	清水区淡島町2-9	054-366-2519
静岡市三曲協会	渡辺 瑛声	石渡 裕子	420-0911	葵区瀬名1-18-56	054-261-6523
静岡市吟剣詩舞総連盟	瀧 清鴻	田村 清潤	420-0003	清水区蜂ヶ谷207-2	054-364-9510
静岡太鼓連盟	法月 慶満	青山 昭	421-0113	駿河区下川原5-33-25	054-259-4930
静岡市バレエ連盟	梶田 美於	梶田 美於	422-8042	駿河区石田1-19-9	054-282-0820
静岡市演劇協会	中村 和光	中村 和光	420-0937	葵区唐瀬1-17-39	054-247-6967
静岡市藝道連盟	杉山 ひろ子	駿河 一郎	424-0901	清水区三保1003	054-334-7755
静岡市水石協会	平野 清司	永峰 正義	420-0905	葵区南沼上2-5-14	054-262-3658
静岡花協会	杉本 幸子	杉本 幸子	421-0102	駿河区手越61-10	054-258-3377
静岡市川柳協会	佐野 由利子	佐野 由利子	422-8045	駿河区西島608-1-504	054-288-7682
静岡市文芸協会	内藤 邦男	丹下 幸子	424-0885	清水区草薙杉道2-2-2	054-388-9678
静岡映画協会	堀内 孝三	小原 豊	420-0944	葵区新伝馬2-8-13	054-251-4338
静岡市能楽連盟	玉井 道夫	愛野 明宣	424-0878	清水区御門台19-28	054-345-7980
静岡市長唄・日本舞踊連盟	田中 時子	尾崎 通恵	422-8078	駿河区さつき町5-21	054-285-5531
静岡伝統木遣協会	柳田 芳宏	高宮 薫代	420-0064	葵区本通9-21-16	054-253-4979
静岡市蒲原文化連盟	長谷川 安道	草谷 卓司	421-3203	清水区蒲原2-5-24	054-385-2879
静岡市由比文化連盟	佐藤 幸司	石川 克己	424-0202	清水区興津井上町82	054-369-0090
静岡ポップミュージック協会	石川 光治	野尻 泰造	420-0032	葵区両替町1-2-2-701	054-254-1718

文化サポーター(賛助会員)の皆様 順不同・敬称略

櫻井翠鈴/水口紫洲/坂倉香風/吉田松道/大内翠雅/鈴木真翠/山梨花英
 太田静苑/岩城翠苑/山下修徳/栗林悠歩/大橋之南/石川清翠/吉田琴翠
 藤間秀三朗/高宮薫代/静岡浅間木遣保存会/静岡市長唄日本舞踊連盟
 静岡市バレエ連盟/静岡市茶道連盟/前田バレエ学苑
 静岡市吟剣詩舞総連盟/静岡吹奏楽団

協会の活動に
ご支援いただき
ありがとうございます
ございました!

静岡市文化協会では文化サポーターを募集しています!

お問い合わせ先/静岡市文化協会 事務局 TEL:054-204-8811 静岡市葵区御幸町4-1 アーバンネット静岡ビル4階